

# nikkor club

273  
2023 SUMMER

特集  
涼しげな水景を撮る





表紙写真 深澤 武

御嶽山に由来する柱状節理が発達した百間滝。入林届を提出して険しい道を下っていくと、岩の罅をまとったような滝が眼前に現れた。夏らしい強い光がくっきりとした虹を描いていた。  
Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・f/16・1/25秒・+1/3補正・ISO64・WB5000K・風景

## CONTENTS

02 ニッコールクラブ新年度のごあいさつ

05 ニッコールクラブ コミュニティサイトオープン —2023年度9月始動—

特集

## 12 涼しげな水景を撮る

写真・解説 自然編：深澤 武／都市編：わたなべりょう

## コンテスト

- 34 サロン・ド・ニッコール カラーの部  
選評：大西みつぐ
- 46 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部  
選評：佐藤倫子
- 54 ネイチャー・フォトサロン  
選評：三好和義
- 62 チャレンジ・フォトサロン  
選評：小林紀晴
- 67 予選通過者一覧
- 68 総評・得点表
- 70 ワンポイントアドバイス

## 作品

- 08 THE GALLERY企画展  
PENGUIN LIFE  
～ペンギンおやこのとき～ 香川美穂
- 10 THE GALLERYセクション展  
永 -tokoshie Hiroshi Yoshida
- 11 THE GALLERYセクション展  
BEARS with Wildlife 福田俊司

表4 小林紀晴×NIKKOR Z 35mm f/1.8 S

## 製品情報

- 26 PRODUCT REVIEW VOL.23  
Z 8 上田晃司
- 32 ミラーレスカメラ Z 8  
販売のご案内

## 連載

- 表2 鉄路彩々  
心が躍る、鉄道と四季の彩り 助川康史
- 22 私のライフワーク 第9回  
発展 三好和義
- 24 受賞者の“いま”  
第24回三木淳賞  
宛 超凡 文・写真：池谷修一
- 28 エプソン 楽しくきれいにプリント講座 vol.16  
エプソンプリンターで取り組む  
作品づくり① 石田美菜子
- 30 アベっちの使った!撮った! vol.1  
Z 8 その① 阿部秀之
- 33 Let's Go Nikon College! 第16回  
風景撮影を対象とした  
オンライン講座の紹介 深澤 武

## インフォメーション

- 71 写真展スケジュール
- 72 THE GALLERYニッコールクラブ会員展紹介
- 75 NCニュース
- 78 イベント情報
- 79 支部だより
- 表3 楽しく学べる! 写真教室 Nikon College
- 巻末 ニコンダイレクトFAXご注文表  
ニッコールクラブ登録情報変更依頼書  
会報274号フォトコンテスト応募規定  
修理料金割引券



## 秋山華子

ニッコールクラブアドバイザー

の度、アドバイザーとしてニッコールクラブでの活動に携わらせていただくことになりました。ニコンのカメラ、レンズ愛用者の相互親善を目的に結成され、写真を楽しみ、互いに刺激し合い、技術を高める場として長年愛される本クラブに関われますことを、大変光栄に存じます。

会員の皆様に写真をより楽しんでいただくための活動内容が新たに発表されました。活動を通して皆様と交流を深める中で、さらに写真を愛する皆様の輪を広げ、写真をより身近に、写真の世界に一層のめり込んでいただけるよう、全力でサポートして参ります。

あきやま・はなこ 奈良県吉野生まれ。大阪芸術大学写真学科卒業後、同研究室勤務。写真家・織作峰子氏に師事。その後、フリーランスのフォトグラファーとして活動。写真にまつわるセミナーやイベントの講師を行う。ライフワークとして「普遍」をテーマにスナップ撮影を行っている。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。



## 上田晃司

ニッコールクラブアドバイザー

の度、ニッコールクラブアドバイザーに就任させていただきました。引き続きフォトグラ

ファー・映像作家の上田晃司です。私はライフワークとして世界を旅しながらストリートフォトグラフィー、都市風景など静止画及び動画作品を撮影しております。今日、写真や映像の表現の多様性に加え、カメラも進化し静止画にとどまらず映像も驚くほど美しく撮影できるようになりました。私の得意分野である技術の進化をどのように表現に活用していくかなど会員の皆様のお役にたてるよう、様々な情報を発信していきたいと思っております。

うえだ・こうじ フォトグラファー映像作家。米国サンフランシスコに留学し、写真と映像を学び、CMやドキュメンタリーを撮影。帰国後、写真家・塙真一氏のアシスタントを経て、フォトグラファー、映像作家として活動開始。講演や執筆活動も行っているほか、ニコンカレッジなどでも講師を務める。YouTubeチャンネル「写真家夫婦上田家」で情報発信している。



## 熊切大輔

ニッコールクラブアドバイザー

ニッコールクラブとしては初めて参加させていただきました。写真家の熊切大輔です。今まで、いち写真家として、そして日本写真家協会の理事として、またニコンカレッジ講師として写真界を盛り上げる

ためにさまざまな活動をしてまいりました。いよいよニッコールクラブの皆様とご一緒できる機会がやってきました。写真を愛する皆様にもっともっと深く写真を愛する皆様にお伝えできればと思っております。

皆様とご一緒にワクワクする写真体験をできることを楽しみにしております。様々な新しいイベントなどを考えております。ぜひ積極的にご参加ください。よろしくお願いたします。

くまきり・だいすけ 東京工芸大を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ドキュメンタリー・ポートレート・食・舞台など「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。代表作は「刹那東京で」、「東京動物園」、「東京美人景」の三部作でスナップで東京の今を撮り続けている。公益社団法人日本写真家協会会長。



## 小林紀晴

ニッコールクラブアドバイザー

ニッコールクラブの会員の皆様、こんにちは。新体制で迎えるなかでまたお世話になります。すでに8年ほど関わらせていただいておりますが、この間にもさまざまな変化がありました。カメラもミラーレスカメラが当たり前になり、撮影スタイルやその方法もかなり変化しました。さらにこれからも進化し続けていくかと思いますが、もっとも大切なのは未知なる一枚を求めて撮影し、創作するための「熱い気持ち」と「行動」です。皆様の創作活動にこれからも携わり、そのお手伝いができれば幸いです。

こばやし・きせい 1968年長野県生まれ。東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業。アジアを旅して作品を制作する。近年は故郷諏訪地方でも撮影を行う。日本写真協会新人賞、林忠彦賞受賞。初監督映画「トオイと正人」でバンコク国際ドキュメンタリー映画祭(新人監督賞)、ほか入賞。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。



## 佐藤倫子

ニッコールクラブアドバイザー

### 新

新しいニッコールクラブがスタートします。写真の世界も時代とともに変化をしております。そしてニッコールクラブも共に変わってまいります。

私が初めてニッコールクラブと関わりを持ったのは、顧問として就任した時。その後、アドバイザーとなり、フォトコンテストの審査や、イベントなどに関わってきました。今年度からは、各部門のサークル活動も新しく開始いたします。

どんな時代でも変わらないことは写真を撮る熱意だと思います。写真を撮る楽しみ、考え、そして撮る。皆様と一緒に、これからのニッコールクラブをより盛り上げて参りたいと思います。

さとう・みちこ 株式会社資生堂宣伝部写真制作部に入社。退社後、フリーランスに。佐藤独自のオリジナルな構図でその世界観を切り抜くクリエイティブスナップ®作品を都内中心に個展・グループ展を開催。公益社団法人日本写真家協会会員。東北芸術工科大学 特別講師。r\_in\_photo主宰。HP: <http://www.rin-photo.com>



## 三好和義

ニッコールクラブアドバイザー

### 今

年もニッコールクラブのアドバイザーを務めることになりました。この数年コロナの影響で思うような活動ができませんでしたが、新体制になりました。今まで出来なかったような企画も、これからは積極的に参加して、会員の皆さまと写真と触れ合うことの楽しさを共有していきたいと思っています。

ニッコールクラブは日本でも世界でも長い歴史を持つクラブです。この歴史の重さを大切にしながらも、今の時代に生きることも大切に、何より「楽しむ」ことを一番に考えて、アドバイザーを務めて行きたいと考えております。一層飛躍のある1年にいたしましょう。

みよし・かずよし 1958年徳島生まれ。大学在学中からプロとして活躍。雑誌「BRUTUS」の表紙など雑誌や広告などを撮影。27歳で受賞した木村伊兵衛写真賞は当時最年少。以降「楽園」をテーマに世界各国で撮影。写真集などにまとめる。近年は日本文化の撮影にも力を注ぎ、「東大寺」「法隆寺」などを超大型写真集で発表している。



## 大西みつぐ

ニッコールクラブシニア・アドバイザー

### 私

はずいぶん長くニッコールクラブに関わってきています。いつの間にか私もまた「シニア」。一旦ニッコールクラブから離れてみることも考えましたが、SNSなどを通じてみなさんの声を集めてみますと、このコロナ禍もあり、写真活動をいかに続けていこうか迷い、悩んでいるシニアのみなさんも案外多いことに気づきました。スナップショットはもちろんのこと、写真表現の潮流は細かく変化してきています。それらをもっと優しく噛み砕いてお伝えしていく役割が私にあるかなと思ひ、新生ニッコールクラブにも参加させていただくことになりました。ご一緒にゆつくり歩いていきましょう！

おにし・みつぐ 1952年東京・深川生まれ。1974年東京総合写真専門学校卒。現在、公益社団法人日本写真家協会、日本写真協会会員、東京総合写真専門学校特別講師。



## ハナブサ・リュウ

ニッコールクラブシニア・アドバイザー

### 長

いコロナ禍を経て、ようやく以前の落ち着きを取り戻してきたようです。そして、いよいよ新生ニッコールクラブの新年度がはじまりました。我々アドバイザー体制も充実させるため、素晴らしいメンバー3名を迎えました。私はシニア・アドバイザーを務めることになりましたが、シニアが付いても今までと同じようにイベントやフォトコンテストの審査など、皆さまと接する機会が多くあります。すでに今年度最初のイベント、岡山で開催のフォトセミナーと撮影会、同じく福岡でのイベントに参加し、皆さまと楽しい時間を共有しました。これからもニッコールクラブをどうぞよろしく願います。

はなぶさ・りゅう 1949年大阪府生まれ。パリを拠点にして通算12年間活動。作家とのコラボレーション、俳優、映画監督やアーティスト等のポートレートやファッション、彫刻など芸術作品。豪奢なホテルや美食料理、旅や風景などを発表。今年8月、ユネスコ世界文化遺産の建築家「ル・コルビュジエ」(別冊太陽・平凡社)を出版予定。

# ニッコールクラブ コミュニティサイト OPEN!

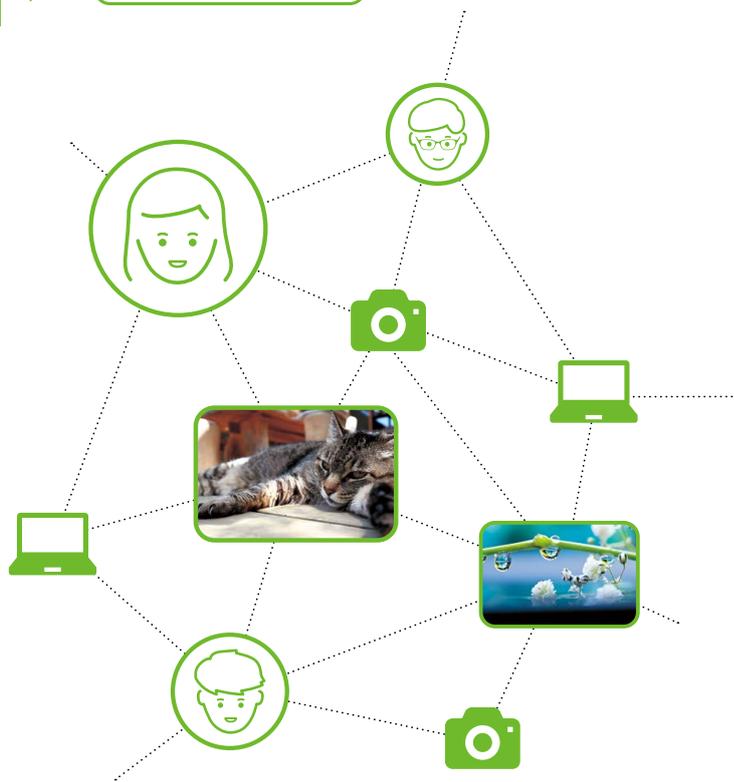
2023年度  
9月始動!

## 1 公式コミュニティサイトオープン

2023年9月に新しいコミュニティサイトをオープンいたします。このコミュニティでは、ニコン、そしてニッコールクラブの最新の情報をお届けし、楽しんで活動していただくことができるコミュニティサイトを目指しています!

また、自由に作品を投稿したり、同じ趣味、目標をもって活動される皆様が相互にカメラの使い方や写真の撮り方などを質問し、解決するためのサークルをご用意します。そして、会員の皆様が交流可能な多彩なイベントも企画して参ります。

コミュニティサイト本オープンにむけて、事前にトライアルしていただく会員の皆様を後日募集予定です。一足先にコミュニティサイトを楽しむことができますので、我こそは!という方はメールアドレスをご登録ください。



## 2 参加型イベントの充実

撮影会、フォトセミナーやフォトキッチンのほか、ニコンのカメラやニッコールレンズをより深く理解をしていただくことができるイベントなど、皆様が気軽に参加できるイベントを予定しております。

皆様のニーズにお応えできるようリアルイベントや製品体験会、双方向で交流が可能なオンラインイベントなどを企画してまいります。

## 3 新規入会、継続手続きの見直し

皆様により簡単に継続手続きを行っていただけるよう、新たな仕組みを導入いたします。

また、新規ご入会の皆様は入会月に関わらず、1年間の会員期間といたします。既にご入会の皆様の継続月は毎年3月より変更はございません。

### メールアドレス登録のお願い

ニッコールクラブにメールアドレスをご登録いただくと、インターネットから継続手続きや会員情報変更、イベント申し込みなどが可能です。不定期にニッコールクラブ会員向けメールマガジンもお送りしております。2023年9月より始動いたしますニッコールクラブのサークル活動やオンラインイベントの参加には、ニッコールクラブ会員としてログインが必要となりますため、ぜひこの機会に下記のURLよりメールアドレスの登録をお願いいたします。

[https://www.nikon-image.com/activity/nikkor/for\\_customers.html](https://www.nikon-image.com/activity/nikkor/for_customers.html)



詳細は会報誌274号にてご案内いたします。

これからのニッコールクラブに  
ご期待ください!

# ニッコールクラブ サークルの紹介

ニッコールクラブ サークル

## 1 「ステップアップ」

アドバイザー  
秋山華子



「ステップアップ」サークルでは、写真を始めるにあたり、何を行えばよいか悩んでいる方が一歩前に踏み出すためのスタート地点として、憩いの場になればと考えております。写真を撮影するために必要なテクニックや知識を取り入れながら、自分自身の視点や個性ある表現を見つけ出しましょう。そのためには何よりも写真を楽しむことが大切です。サークルを通じて写真とカメラを生活に密着したものととらえ、撮影し、試行錯誤を通じて自分自身のスタイルを見つけ出していただきたいと思えます。

写真を撮る時には「一人」ですが、サークルのメンバーと交流を深めることで、新たな刺激やアイデアを得て、自分自身の写真の可能性を広げましょう。



ニッコールクラブ サークル

## 2 「機材」

アドバイザー  
上田晃司



私の担当するサークルは、皆様の愛用している機材や新機種などに関するコミュニティになります。愛機の自慢はもちろん、お気に入りのレンズ、アクセサリなどニッコールクラブの会員の方々と有益な情報交換ができればと思っております。愛機で撮影した写真を投稿していただいて、どのように使いこなしたかなど写真を元に情報共有していただき会員の皆様の機材選びの参考にもなればと考えております。

また、最新のカメラやレンズのインプレッションを始め、役立つ機能の紹介などカメラやレンズ、アクセサリを使いこなせるコミュニティに育っていけばと思います。ぜひ、皆さんもコミュニティに参加していただき、仲間同士で繋がりを持ち盛り上がり上げていきましょう。



ニッコールクラブ サークル

## 3 「スナップ」

アドバイザー  
熊切大輔



私はスナップで写真表現をしています。スナップ写真は簡単な様で実は非常に奥深い表現であると言っても過言ではありません。日常をどうやって面白く、印象的に魅せるか。様々なコツやテクニックを駆使して、当たり前の世界をドラマチックに表現する。そんな表現の楽しさを皆様に伝授できればと考えています。

スナップ初心者はもちろん、他ジャンルの方にもその考え方やテクニックは、参考になると思います。様々なセンスや技術を使った一味違った作品で「自分らしさ」を表現できる楽しみを実感して頂ければと思います。特に自分の表現に行き詰まった方など、新たな表現へのチャレンジをしてみたい方はぜひ、ご参加頂ければと思っております。



2023年9月に始動する6つの「ニッコールクラブ サークル」をご紹介します。  
サークルへの想いを担当するアドバイザーに語っていただきました。  
詳細につきましては、「ニッコールクラブ会報誌 夏号 No274」にて発表いたします。

ニッコールクラブ サークル

## 4 「組写真」

アドバイザー  
小林紀晴



9月から「組写真」のサークルを中心に皆様と交流をもたせていただきます。

テーマやコンセプトをもって、具体的に作品をつくっていくことが主になります。枚数が増えていくと難易度は上がっていきます。時に簡単ではありません。皆様も頭を悩ませる機会が多いのではないのでしょうか。何故なら、答えはどこにもないからです。答えはあらかじめ用意されているものではなく、みずから作り出す必要があります。それだけに奥深いのです。

「単写真」をさらに発展させたい、いずれは個展を開きたい、あるいは作品の内容と質を高めたいと考えていらっしゃる方にぜひ、参加していただけたらと思います。共に悩み、そして大いに楽しみましょう。



ニッコールクラブ サークル

## 5 「ポートレート」

アドバイザー  
佐藤倫子



この度、「ポートレート」の担当となり、とても嬉しく思っております。皆様、よろしくお願ひいたします。

人である被写体をどう思い通りに表現できるか、なかなか難しいことではあります。しかし、人物撮影ゆえに、その現場でしか味わえない感覚も多くあります。限られた時間内で、コミュニケーションを取りながら撮影していく難しさや慣れもあると思いますが、初心者や今まで躊躇していた方でも参加しやすいイベントをいろいろと企画したいと考えております。

人を撮ることの奥深さは、自分を見つめ直すきっかけにもなると思います。それは更なる発見や進化にもなるでしょう。思いっきり楽しんで参りましょう。

ニッコールクラブ サークル

## 6 「風景」

アドバイザー  
三好和義



毎回、お送りいただく写真に触れると撮影者の熱気に驚きます。また、皆さんの年齢が、自分が思っていたよりも、はるかに高いことが多いのです。それは撮影者の気持ちの若さの反映で、とても素晴らしいことです。その反面、女性や若い人が少ないと感じることもあります。アナログの時代、カメラは確かに男性の趣味でした。でも、デジタルになり女性が積極的にカメラを手にして風景を撮っている姿もよく見かけます。若い人は、ネットで写真を発表すると聞きますが……。そんな方々も一緒に頑張って写真展などができたらいいなと思っています。

性別、年齢、国籍など何も関係なく楽しめるのが写真の素晴らしいところです。多くの人と共有、共感できる場になればと思います。



初夏から秋にかけては、  
被写体探しの最中も、撮影中も  
撮った作品を見ていても

涼しく癒される「水景」の撮影をご提案します。

水景というと、滝や溪谷のせせらぎを

思い浮かべませんか？

自然風景の中にある水景はもちろん、

生活圏内の街や都市でも

そこに水があれば撮影可能。

水のある風景を探して、

見ても撮っても涼しい

作品づくりを楽しんでください。

深澤武 Ⅱ 自然編

わたなべりょう Ⅱ 都市編

nikkor  
club



水景を撮る

涼しげな

nikkor  
club



ISO感度を下げて1/4秒のスローシャッターにすると柔らかな水の流れを表現できた。飛沫を止めるのであれば1/500秒より速いシャッター速度を選びたい。Z7・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR+ マウントアダプター FTZ・絞り優先オート(f/11・1/4秒)・ISO64・WB:5000K

## ▲自然編

# 「自然の中の水景」

## どう表現するか

深澤武 | 写真・解説

暑さが厳しい日々が続く夏、涼を求めて溪流や滝で撮影するのは楽しいものです。木々は緑色を増し、光が強くてドラマチックです。比較的晴天が多いのでシャッターチャンスに恵まれる確率も高くなります。

現場に着いたら朝はどちらから光が差し込むか、また夕方はどうだろうか、曇天の柔らかな光が似合うか、雨に濡

れた岩がよさそうなど、天候や時間帯によってどんな表情を見せてくれるかを確認しましょう。

晴れていたら高速シャッターで水の動きを止める。曇りや雨の日はスローシャッターにすると水の流れをソフトに見せられます。跳ね上がる飛沫を生かすなら逆光で暗い背景を選び、望遠レンズで切り取るとよいでしょう。また晴天時にスローシャッターを得るためにフィルターのND16やND32を用意しておくとう便利です。

水辺の撮影ではレンズに飛沫が付着しやすいため、レンズクリーナーは必需品です。気づかずに撮影してしまえば後で気づくことも多いため、水滴がしみとなって写り込んでいないか時々確認するようにしましょう。ブローアーで水滴を吹き飛ばし、クリーニンングペーパー等でふき取ればクリアな作品に仕上がります。



シャッター速度1/25秒の滝は水が止まるでも流れるでもなく中途半端になってしまった。



## 構図を整え 伝わる写真に

滝、溪流、岩、緑の木々など、水辺の風景を構成する要素は多様です。溪流や滝をありのままに見せようとするあまり、あらゆる要素を写真に盛り込んでしまうと水辺の環境を説明する写真になりがちです。何をメインに見せるか、つまり主題をはっきりとさせることが大切です。滝の姿、水流の部分的な流れ、木立、岩など、メインのものを大きくとらえることで伝わる写真に仕上がります。溪流に近づいて手前の水流を広く見せると水風景としての広がりも伝えられるでしょう。



### 広々とした溪流を伝える

### メインを大きく

乗鞍岳から流れ出した溶岩が侵食されてできた小さな滝、そして滝が後退するにつれて形成されたであろう小さな淵が目にとまった。広角14ミリで近づいて、青みを帯びた淵をメインとして大きくとらえると、見かけ以上に広々とした溪流のイメージに仕上がった。 Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・絞り優先オート(f/11・2秒)・ISO200・WB:5000K



### 溪流に漂う生命力を伝える

### 滝は控えめに

カエデの大木と滝とのコンビネーションを狙った。カエデの大木をメインにしたので滝は控えめし、大きく枝を伸ばした樹形をメインにとらえた。生き生きと葉を茂らせた木々の生命力のようなものが伝わってくる。 Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・絞り優先オート(f/11)・+0.7補正(1/2.5秒)・ISO200・WB:5000K



### 切り取った流れの配置

### 滝の奥行き感を伝える

2.5秒のスローシャッターで撮影し、筋を描いて流れる滝の優美な姿をとらえた。流れの美しい部分だけを切り取ることで主題が流れであることを強調した。また二段の滝と緑の木々への連なりから奥行き感も伝わってくる。 Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・絞り優先オート(f/16)・+0.7補正(1/2.5秒)・ISO200・WB:5000K



### 爽やかさを伝える

### 視点を变えて

滝の裏側から見上げるように撮影した。夏らしい森と青空が背景に広がり、爽やかな滝の姿をとらえることができた。滝裏からの撮影では水滴がレンズにつきやすいため、一旦構図を決めてからレンズの水滴をぬぐい素早くシャッターを切った。 Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・絞り優先オート(f/11)・+1補正(1/50秒)・ISO200・WB:5000K

## 変化する光線を 予測する

逆光による光芒や水面のきらめき、順光で見られる虹や水面への映り込みは夏の強い光が生きる被写体です。太陽が雲に遮られず、強い光のときほど光芒や虹がくっきりとします。滝のしぶきが上がっているところに光が背後から差し込むと光芒が現れます。水量が多くてたくさんのしぶきを上げている滝では逆光時に高い確率で光芒と出会えるでしょう。虹は太陽を背にして滝と向き合うときに現れるため、朝夕の低い光がねらい目です。光の変化を予測してシャッターチャンスをつかむようにしましょう。



### 爽やかさ伝わる虹 滝の水しぶき×順光

太陽を背にして滝に正面から光が当たると虹が現れる。シャッター速度が速いと水流のざわつきに虹が埋もれやすい。ND16フィルターを使って1/8秒のスローシャッターとし、水流を滑らかに見せることで虹をくっきりと見せることができた。Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・ND16・絞り優先オート(f/16)・+1補正(1/8秒)・ISO64・WB:5000K



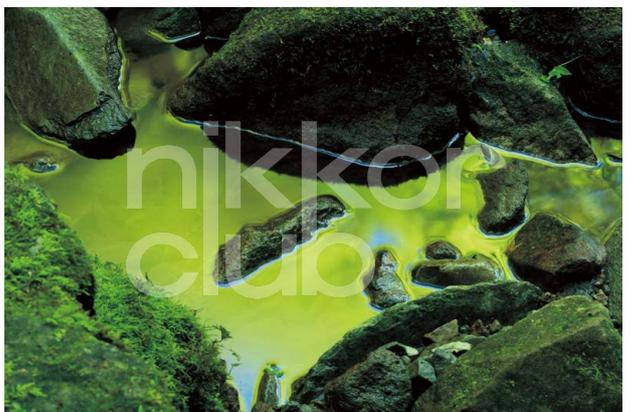
### 光の筋でドラマチックに 霧×逆光

夏の朝、冷たい水流と暖かな空気との温度差で霧が現れた。逆光で見ること光の筋が現れ、ドラマチックな渓谷風景となった。アクティブD-ライティングを「より強め」にすることで、木漏れ日が水流に当たった部分の白トビを抑えた。Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・絞り優先オート(f/16・1/8秒)・ISO100・WB:5000K



### 水面の美しさ伝える 水のきらめき×逆光 光の玉ボケ

岩の上に着地しようとするミヤマカワトンボ。逆光線で水面のきらめきを背景にすると輝いて見える。望遠280ミリ、開放F4で撮影することで水面のきらめきを大きな玉ボケとしてとらえることができた。Z 7・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR+AI AF-S TELECONVERTER TC-14E II・絞り優先オート(f/4・1/2500秒)・ISO200・WB:5000K



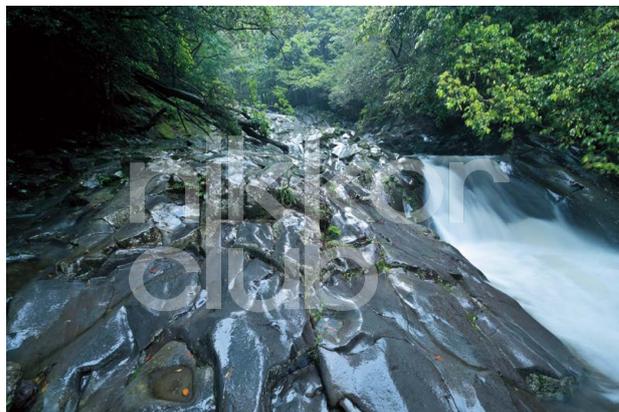
### 水面が緑を映すスクリーンに 水面×影

夏らしい濃緑の木々が映り込む渓谷。影になった水面がスクリーンの役割を果たして、くっきりとした映り込みを見せてくれた。緑色が水面いっぱいに広がるアングルを選びたいので、三脚の高低を微調整しながら撮影した。Z 7・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR・絞り優先オート(f/22)・+0.3補正(8秒)・ISO200・WB:5000K



## 落ち着いた優しい色合い 曇天×柔らかい光

曇天の柔らかな光で撮影すると木々の緑を優しい色合いでとらえられます。滝との明暗差も強すぎず、緑と白色とを落ち着いた色調で見せられるため、水景らしい爽やかさを生かせました。緑の枝ぶりが滝へとせり出すようなポジションを選び、脇役の存在を引き立たせました。Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・絞り優先オート(f/11・1/5秒)・ISO100・WB:5000K



## 雨を感じる冷たさを表現 WBで青みをプラス

雨が降り続く滝で岩をメインにフレーミングしました。岩のテカリに魅力を感じたからですが、このテカリが雨に濡れた雰囲気伝えてくれます。ホワイトバランスを4200Kにして、青みを足すことで雨らしい冷たさを感じられるようになりました。Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・絞り優先オート(f/11)・-0.3補正(1秒)・ISO64・WB:4200K



## イメージ通りの色再現

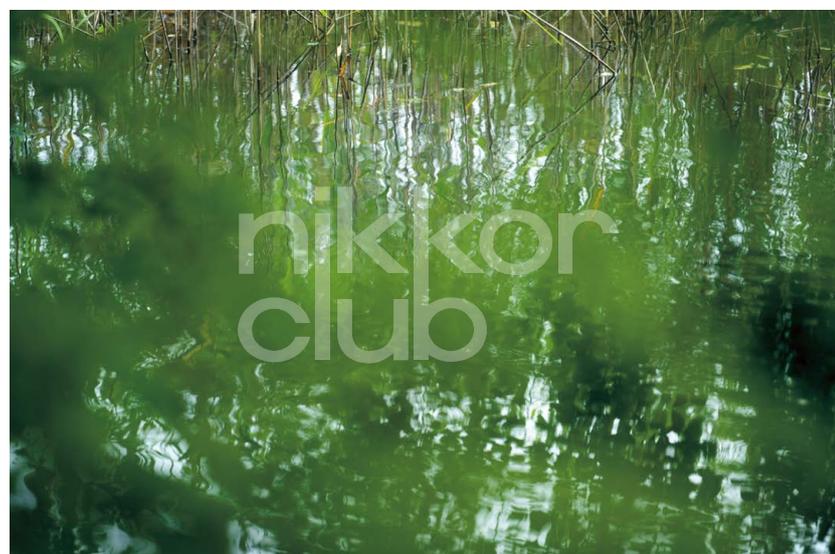
朝夕や昼間など時間帯によって被写体の見かけの色は変化します。ホワイトバランスを晴天にして撮影すると、自然が持つ見たままの色合いをとらえることができます。もう少し赤みや青みを生かしたいという時は色温度設定でホワイトバランスを調整します。青みを足したければホワイトバランスを4500Kや4000Kなどと色温度設定を低くし、赤みを足したければ5500Kや6000Kなどと色温度設定を高くします。露出補正や前ボケなどを使って、色彩のイメージを作り込んでいくのもいいでしょう。



## アンダーめの露出

### 夕暮れ感を出す

日没を過ぎて夕闇に包まれてゆく渓谷。フィルターを使わずともスローシャッター20秒となり、青みの強い色合いに染まって夕暮れの雰囲気が感じられるようになりました。暮れるイメージを引き出すため若干暗めの露出に仕上げています。Z 7・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・f/8・20秒・ISO800・WB:5000K



## ボケをカラーフィルターに

### 木々の前ボケが優しい緑に

青や赤など様々な色を見せてくれる五色沼。この日は曇天で色の鮮やかさは今一つだったので、緑の葉を前ボケに入れて木々が茂る夏の高原らしさを狙いました。前ボケが画面いっぱい広がるポジションを選び、緑に満ちた雰囲気を引き出しました。Z 7・AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR・絞り優先オート(f/2.8・1/80秒)・ISO200・WB:5000K



Z 50・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f/6.3・1/400 秒・ISO100

## 都市編

# 「都市の水景」

# 撮り方アイデア

わたなべりょう 写真・解説

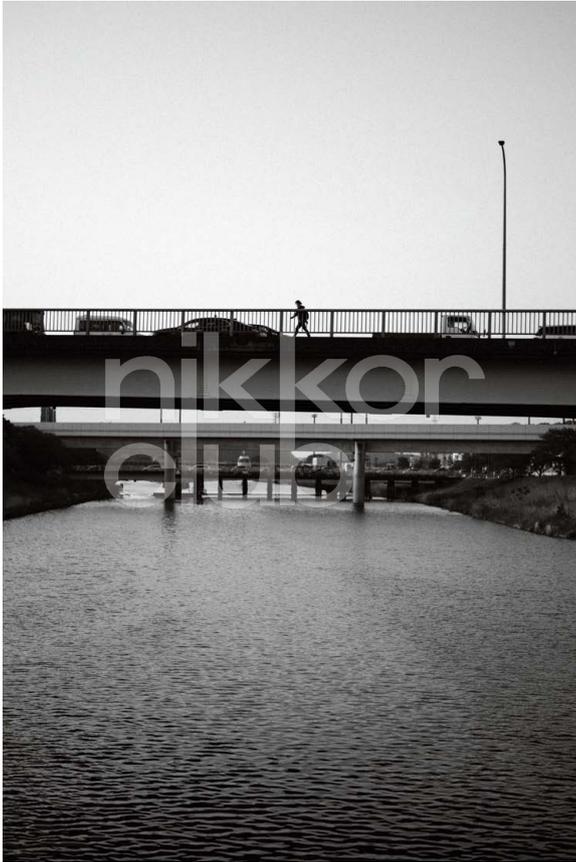
日常から少し離れてリフレッシュしたいとき、意外と身近な場所にあるのが「都市の水景」です。ビルに囲まれた大都会でさえ、よく探せば必ずどこかに人工池や小さな水たまりが存在します。公園に行けば、子供たちが遊べる水路が整備された施設も多く見受けられます。

涼やかな風、水の音、緑の反射、そしてゆったりとした時間の流れ……。水景は、まさに心を癒してくれるフォトスポットと言えるでしょう。撮影の楽しみは、そんな癒しの空気や音、光を感じられることにあるのかもしれない。

「なかなか写真を撮りに行けない」と感じている方も、あなたのご近所にもきっとある都市の水景に足を運んでみてください。そこで得られる癒しのひとときは、きつと心に残る素晴らしい写真になることでしょう。

### 都市×水風景 ポイント

- よく観察し水のある風景を見つける
- 水面や、水の線や形、流れや人物からアイデアを考える
- 光を上手く使い、癒しや爽やかさを感じる作品に仕上げる



## 川の流れ×ドラマ

### 川の流れと歩く人をモノクロでスナップ

曇天の日の夕方、近所の川にかかる橋を歩いていると急ぎ足で橋を渡る人と川の流れや車の流れがリズム良く感じられるタイミングがあったのでシャッターを切りました。モノクロにすることで、人物のシルエットが際立つ作品に仕上がりました。Z 9・AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/1.6・1/3200 秒・ISO200



## 雨の日×形

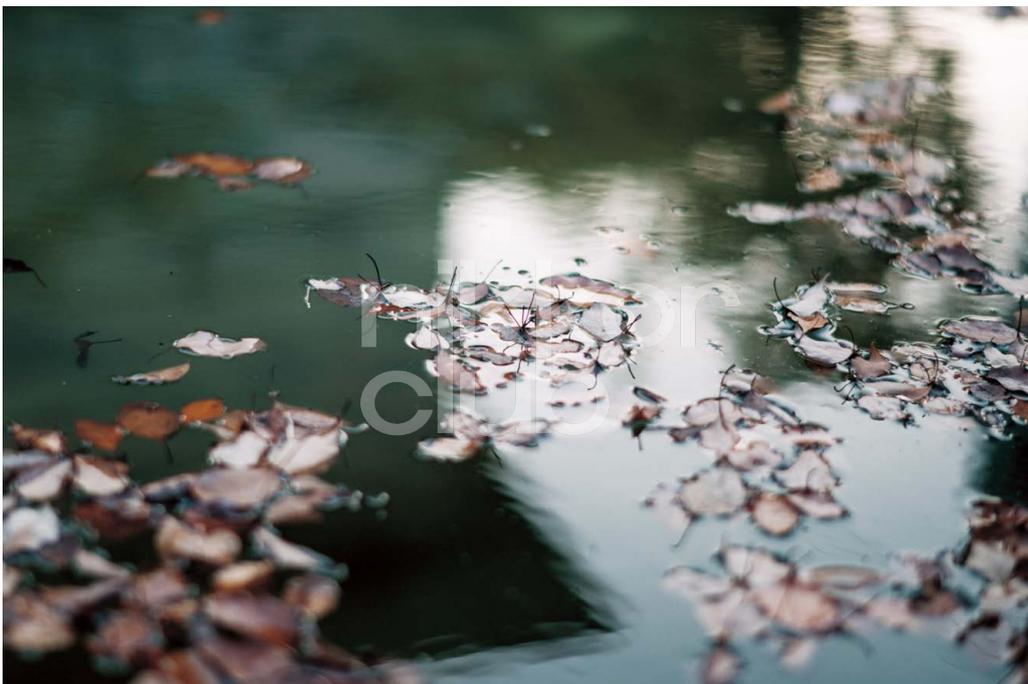
### 雨の波紋を高速シャッターで

雨が降る日に建物内から外を見ると、木の床に写る雨の作る波紋が美しい模様を描いていることに気がつきました。シャッタースピードを速くして、形が消えないようにして撮影しています。雨の落ちるタイミングはわからないため多めにシャッターを切るといいでしょう。Z 9・AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/3.1/320 秒・ISO180



## 街の中の「水」を観察する

人工物に囲まれた都会の中でも、雨が降ったり、川が流れたり、噴水があったり必ず水が存在しています。身近にあると、当たり前になりすぎていて写真を撮る気もしないような場所であっても、考え方一つで、水景が撮れるフォトスポットになります。まずは、近くにある「水」を改めて観察してみましょう。



## 水面×光景

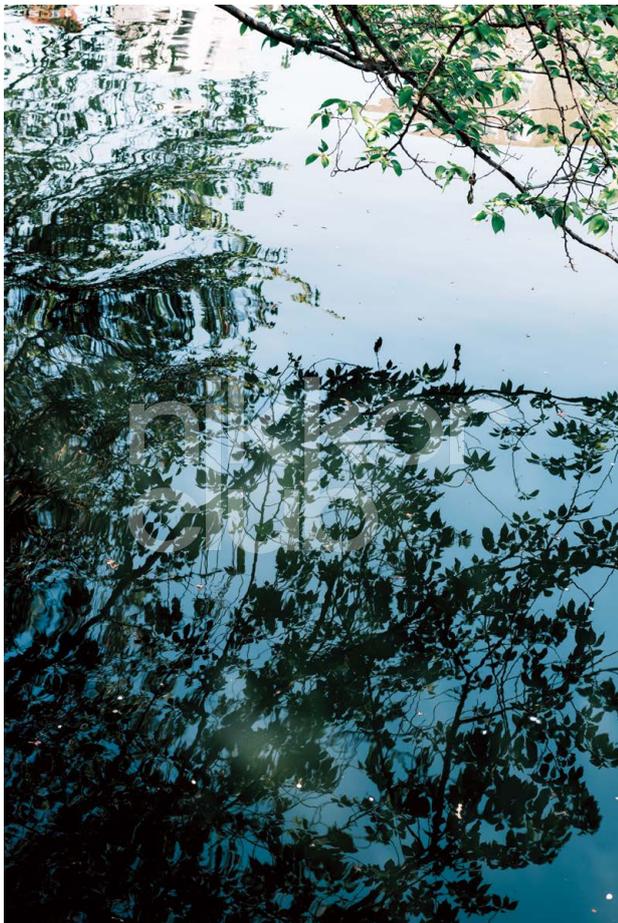
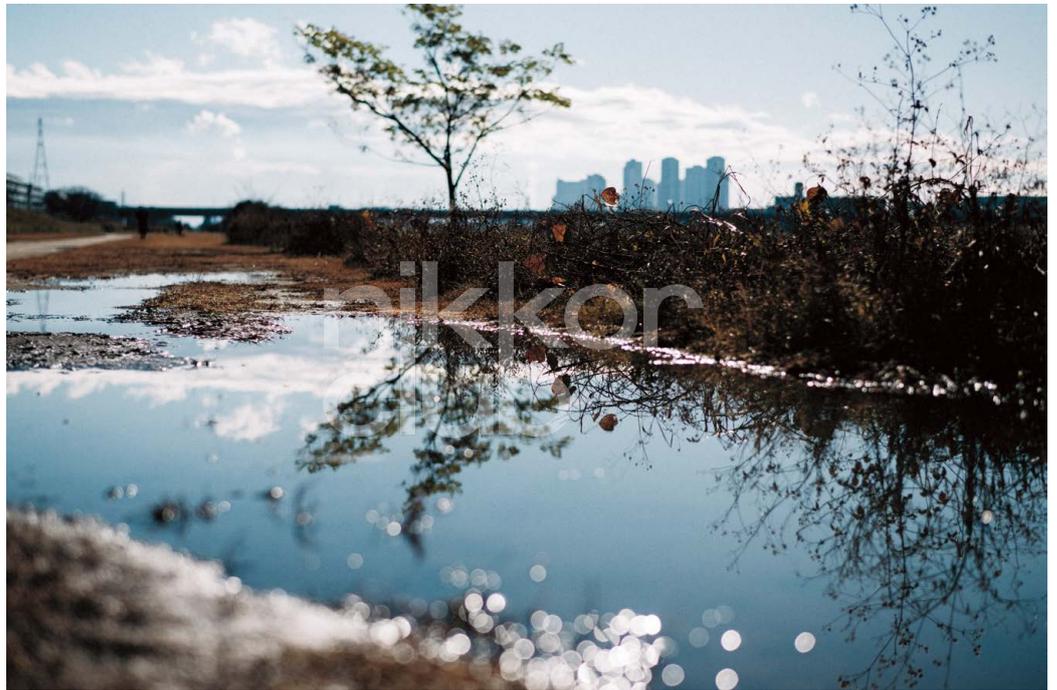
### 小さな池に浮かぶ 落ち葉と建物の 影に注目

人工の小さな池をよく見ると、落ち葉が溜まった場所に柔らかな光があたり、そこに建物のシルエットが映り込み、優しい光のグラデーションが感じられる光景が見つかりました。普段は通り過ぎてしまうようななんでもない場所でこんな写真が撮れると、思わず嬉しくなります。Z 9・AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/1.6・1/800 秒・ISO200

## 濡れた路面× リフレクション

### 雨上がりの 朝の河原で

夜にたくさん雨が降った日の翌朝、河原には大きな水溜まりができていました。ローアングルで撮影すると、まさに水鏡のように奥にあった木と空がキレイに反射しました。手前に小さな光の球ボケもできて、強い日差しが感じられます。 Z 9・AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/2.1/10000秒・ISO80



## 川面×リフレクション

### 静かな流れの川面を観察して

桜の花が終わり、新緑が美しい季節に大きな川沿いを歩いているときに撮影しました。基本的にはほとんど流れのないような静かな川でしたが、風が吹いたせいか、少しだけ水面が揺らいで、桜の葉のシルエットがゆったりと流れるような形になりました。 Z 9・AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/5.6・1/60秒・ISO140



## リフレクションに 注目する

リフレクションは撮影にもってこいのシチュエーションです。水溜りや静かな川面、公園の池の周りなどを歩いてみて「反射」をよく観察してみましょう。思いがけない発見があるかもしれません。ただし単に水があれば必ず反射するわけではありません。流れがあったり、風が強くと水が揺らいでいたりすると反射しないので注意しましょう。



### 晴天の公園で

## 水面×リフレクション

よく晴れた日に公園へ行くと、静かな水面に遠くの木々が反射していました。本当は周囲にマンションや建物も多い場所ですが、アングルを工夫して人工物が入らない画角を選ぶことで、まるで遠くのリゾート地に来たような印象になりました。 Z 50・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f/6.3・1/320秒・ISO100



POINT  
3

## 身近な水路や池で 空気感を撮る

暑い季節になると、子供たちが入って遊べるような小さな水路のある公園も絵になる被写体となります。天気や周りの植物との組み合わせを考えて、写しどころを考えてみましょう。ただし、遊んでいる子供など、人が多いときはカメラを向けられることを不快に思う人もいます。必ず配慮して撮影しましょう。



### 日差しとタイルの模様注目

### 水の揺らぎ

夏を思わせる強い日差しの出た日に、小さな子供が入って遊べるような公園の浅い水路で撮影しました。思いきって水に近づいて撮影し、木漏れ日からの強い日差しと、一緒にゆらゆらと揺れるタイルの模様を強調しました。 Z 9-AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G ・f/2.8-1/640 秒・ISO64

### 緑と水の音が感じられる構図で

### 水の音

公園などにある水路、少し引きの構図で撮影しました。水平が感じられる構図なので傾かないように意識して構図を決めます。RAW現像でややハイキーに仕上げ、明るい印象を強調しています。 Z 9-AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/2.8-1/320 秒・ISO64



### 水の雰囲気

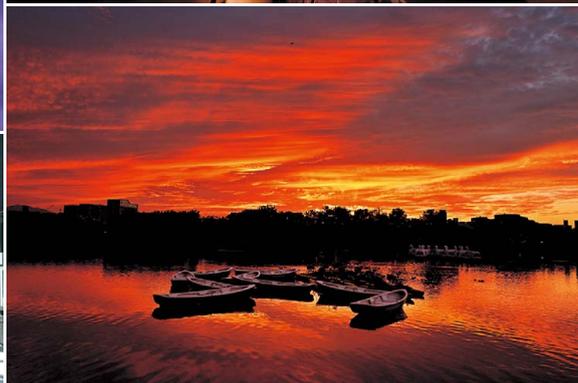
### 背景にさりげなく 池の明るさを入れて

小さな都会の公園で、新緑の季節にモミジの翼果(果実)を見つけました。背景にさりげなく池を入れて、明るさを感じられるように仕上げています。水面の柔らかな明るさが画角内に入ること、少し暗めの曇天の日でしたが光を感じられる印象となりました。 Z 9-AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G・f/3.2-1/1000 秒・ISO200

楽しく学べる!  
写真教室

# Nikon College

ニコン カレッジ



ニッコールクラブ会員

¥1,000 割引  
～ ¥3,000

※割引対象外の講座もございます。  
詳細はニコンカレッジWebサイトをご確認ください。

7月・8月・9月講座 **6月9日(金)** 申込受付開始

詳しくはニコンカレッジWebサイトをご覧ください。※6月5日(月) 更新予定

<https://www.nikon-image.com/nikoncollege/>

ニコンカレッジ

検索



ニコンカレッジは、全国の第一線で活躍中の50名を超えるプロの写真家とクリエイターが講師を務める写真教室です。幅広いジャンルの多彩な講座をオンラインと対面の両面でご用意しています。初心者から上級者まで、楽しみながら写真や動画を学んでいただけます。少人数でプロから直接学ぶ撮影ノウハウは、きっと、あなたの写真表現/映像表現の幅を広げることでしょう。ご自宅から気軽に受講できるオンライン講座に加え、全国7地区※で対面講座を開催。ニッコールクラブ会員の方はお得な割引価格で受講できる講座が多数あります。

※東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、福岡で開催

## 7月・8月・9月講座より、ピックアップ!

### 1 【Nikon College 体験クラス】と【動画を学べる講座】を多数開講!

ご好評につき、若年層向けの【Nikon College 体験クラス】を継続開講。“週末1日完結型”なので、平日には時間が取れないというお客様も気軽にご参加いただけます。講師や他の受講者とのコミュニケーションが取りやすい“少人数制”、若い世代に優しい“お得な受講料”となっており、「ニコンカレッジには初参加」という方に好評いただいております。また、【動画を学べる講座】のボリュームも充実化。動画入門者向けの手軽なオンライン講座から、貸出カメラのある体験型講座、動画作品づくりのための編集作業を学べる講座まで、多彩なテーマの動画講座をご用意。ニコンカレッジで気軽に写真や動画を楽しんでみませんか?

### 2 【未体験の撮影ジャンルにチャレンジできる講座】も盛りだくさん!

写真には「スナップ」、「風景」、「ポートレート」、「動体(鉄道・飛行機・動物など)」、「星景」、「画像処理」など、様々なジャンルがありますが、未体験のジャンルに挑戦する際には、プロ写真家から指導を受けるのが早道です。ニコンカレッジでは、「その道のプロ」の講師から、『講義+撮影実習+講習会』の実践的な講座の流れを通して、未体験のジャンルに無理なくチャレンジしながら、写真表現のノウハウを身に付けることができます。オンラインでもリアルでも、プロからの直接指導でレベルアップを目指しましょう。

# 小林紀晴 × NIKKOR Z 35mm f/1.8 S



Z 7 II ・ NIKKOR Z 35mm f/1.8 S ・ f/16 ・ 1/200秒 ・ スピードライト

新大久保の路地裏。  
最近、このあたりをよく歩く。

ふと足が止まった。  
模倣されたフェイクは  
時に本物より心を打つ。  
本質が、純度高く  
抽出されているからか。  
だから、愛おしい。